

科目名	小児体育Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年次	前期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	保育士資格 選択				
授業概要 小児体育Ⅰと小児体育Ⅱの内容を踏まえ、幼稚園教育要領・保育所保育指針ともに掲げられている「進んで戸外で遊ぶ」ことについて考える。本授業では、戸外遊びの重要性、必要性を理解するとともに、戸外遊びの立案から実践を具体的な体験を通して保育者としての魅力的な戸外遊びのあり方について学ぶ。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びの楽しさを感じ、保育における戸外遊びの重要性、必要性を理解できる。 ・子どもたち自ら進んで戸外で遊ぶための魅力的な戸外環境を考えることができる。 ・グループ活動において、積極的に仲間と意見を交わし、よりよい活動計画が実践できるよう主体的に取り組むことができる。 				成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回のふりかえりシート（授業内レポート） ・グループ活動 ・授業態度（服装、身だしなみ等を含む） ・授業参加度 			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度			○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		30
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1)オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス）							
2)「進んで戸外で遊ぶ」とは 幼稚園教育要領・保育所保育指針を読み解く							
3) 戸外遊びの実践①							

4) 実践した戸外遊びをふりかえる	グループ活動
5) 戸外遊びの実践②	
6) 実践した戸外遊びをふりかえる	グループ活動
7) 保育現場における戸外遊び（身体表現活動）を観察する	
8) 保育現場における戸外遊び（身体表現活動）を観察する	
9) 保育現場における戸外遊び（身体表現活動）を考える①	グループ活動
10) 保育現場における戸外遊び（身体表現活動）を考える②	グループ活動
11) 保育現場における戸外遊び（身体表現活動）を考える③	グループ活動
12) 身体活動表現をねらいとした模擬保育①	グループ活動
13) 身体活動表現をねらいとした模擬保育② （身体活動表現の発表）	グループ活動
14) 身体活動表現をねらいとした模擬保育③ （他の表現領域との合同発表）	グループ活動
15) 進んで戸外で遊ぶためには・まとめ	グループ活動
授業外学習	
<p>さまざまな参考図書（テキストや保育雑誌等）等を活用し、できるだけ多くの遊びを理解しましょう。授業の空き時間を活用し、グループメンバーと協力し、主体的に活動を進めてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「<改訂>保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する	小児体育Ⅰ・Ⅱ 保育内容（健康） レクリエーション演習
備考	
<p>保育者としての服装・身だしなみ等をしっかり整え、前向きな姿勢で授業に取り組むことを望みます。 【オフィスアワー】 弘中陽子 / メールアドレス：hironaka@ube-c.ac.jp</p>	